

## あ

**I18N** あい18えぬ

internationalizationの略語。先頭のiと最後のnの間に18文字存在していることに由来する。(小林 正)

項目「国際化」を見よ。

**IEC** あいいーしー**IEC: International Electrotechnical Commission**

国際電気標準会議。電気・電子技術分野の標準化を扱う代表的な国際標準化機関の1つである。1906年に設立された。(鈴木邦和)

**IEC TR 61997** あいいーしーていーあーる61997

IEC TR 61997は、“Guidelines for the user interface in multimedia equipment for general purpose use”というタイトルの国際標準で2001年に発行された。本標準は、「トロンヒューマンインタフェース仕様」をベースとして、情報家電のような高い機能とサービスを提供することによって、複雑になる電気・電子製品のヒューマンインタフェースの基本的なユーザインタフェースガイドラインを規定している。

(越塚 登)

**ISM 法** あいえすえむほう**interpretive structural modeling**

矛盾する要求を合意形成により解消するための合意形成法。

アメリカのパステル研究所が複雑な問題の分析手法として開発した手法である。10人前後の問題に関心を持ったメンバーを選定し、メンバーの合意により問題を明確設定する。KJ法やブレインストーミング法などを用いて、問題を構成する要素を導く。因果関係、包含関係等について明確化するかを決めた上で、個々の構成要素間にその関係が成立するかを吟味する。要素の分割を行い、到達可能行列を有向グラフ

化し、得られたグラフの解釈を行うことにより、問題構造を明確化する。(加藤 恵)

**ISO** あいえすおー**ISO: International Organization for Standardization**

国際標準化機構。IEC(国際電気標準会議)の担当する電気・電子技術分野とITU(国際電気通信連合)の担当する電気通信技術分野を除いた全産業分野の標準化を扱う代表的な国際標準化機関の1つである。1947年にISA(万国規格統一協会)を母体として設立された。

情報技術分野の標準化については、ISO(国際標準化機構)とIEC(国際電気標準会議)の合同技術委員会であるISO/IEC JTC1が担当している。(鈴木邦和)

**ISO 10018** あいえすおー10018

苦情処理への指針に関する規格。ISO/TC176で審議中。

**ISO 10019** あいえすおー10019

コンサルタントの選択指針に関する規格。ISO/TC176で審議中。

**ISO 10075** あいえすおー10075

規格名を“Ergonomic principles related to mental work-load”(精神的作業負担に関する人間工学の原則)といい、作業における精神的作業負担を考慮した設計に関する国際規格である。

構成としては、ISO 11064-1からISO 11064-2の2部構成となっている。パート1では用語の定義しており、パート2では精神的作業負担の影響として精神疲労、単調感、注意力の低下、心的飽和を防ぐための具体的な設計指針について規定している。(鈴木邦和)